

KANAGAWA

3

March , 2025
vol. 455

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



Contents

特集『わが恩師を語る・・・黒川紀章』	01
建築探訪(大分県大分市から由布市を訪ねて)	03
特集 神奈川の残しておきたい建築	05
委員会活動報告(相模原 城山周辺の山とまちあるき)	07
山本理顕プリツカー賞受賞記念講演	08
賛助会だより	09
支部のページ(相模原支部・海老名支部・鎌倉支部)	11
編集者のつぶやき(末田美術館)	14

特集 わが恩師を語る・・・黒川紀章

湘南三浦支部

私の恩師「黒川紀章」

 MAGICBUS BUILDING WORKSHOP 1級建築士事務所
三輪 数比古

わが恩師を語る。黒川紀章

黒川氏の有名な作品は、1970年の大阪万国博覧会に始まり、中銀カプセルマンション、埼玉、名古屋、愛媛の美術館、福井の恐竜博物館、そして東京の国立新美術館と沢山ありますので、皆様もその内の幾つかはご存知のことと思います。

そこで今回は、作品についてでは無く皆様にあまり知られていない黒川氏のエピソードを書いてみたいとおもいます。



英誌ADに掲載されたDollsHouse Fig.1

そして配属されたセクションが海外のコンペを専門に行う外人ばかりの部所でした。実は私は英語が得意ではなく、しかし面接で最大のハタハリをかけた以上脱走するわけにも行かず恐る恐る担当の仕事を始めました。そこで見たものは …

□テキストが英語で書かれたコンペの時。

ベルリン：バイエル薬品研究棟コンペ

当時は今のように携帯で翻訳などできないですから、辞書を引きながら要項を理解し、計画案を作りました。計画趣旨も英語で書きます、そしてその英文を黒川氏がチェックするのですが、紙面一杯に赤いバツが付けられた紙が帰ってきました。そして黒川氏の部屋に呼ばれ、君は日本語の文法が不正確だから英語が書けないんだ、これからは文法を考え正確な日本語を書きなさい、といわれた。

この言葉は私の生涯を変える重要な言葉となりました。

□テキストが英語以外で書かれたコンペの時。

ローマ：プリンチーペ駅コンペ Fig.2

黒川氏が今度これをやる、読んでおけと私の机にボンと置いていったファイル、どの頁を開いてもイタリア語、これは読めなくても仕方ないと翻訳者が来るのを待っていました。三日後位に黒川氏に呼ばれ、読んだか？と聞かれ来週翻訳者が来ますと答えたら …

激怒された。コンペは時間との戦いだ！何をやっているんだと。



スケッチをする 黒川紀章氏 写真1

■黒川紀章氏の語学力。

このテーマに入る前に、私が黒川紀章建築都市設計事務所に入った経緯を書かせていただきます。私が20代の頃、英国建築家協会主催のチャリティーコンペ「DOLLES HOUSE」が催され、それに私は超ジャパネスクな案を出し運よく入賞いたしました。それに気分を良くしコルビジェの流れを汲む建築事務所に入りたいと思い、当時バイトしていた黒川雅之事務所で雅之氏に相談いたしましたら、うちはお前は知らない、兄貴のところへ行けといわれ、黒川紀章氏の門を叩きました。

彼曰く、ラテン語系の言語は英語読みしろ、単語はある程度似ている、私は読んだぞといわれた。その時、黒川氏の地球上でものを作るという恐ろしいまでの執念と情熱を感じた。

この言葉も私の生涯を変える重要な言葉となりました。

■黒川紀章氏の英会話力。

クアラルンプール国際空港を実施設計している時、当時のマハティール首相にプレゼンテーションする機会がありました、その時黒川氏の英語を聞いた。発音こそ日本人的ですが、誰でも分かる単語を使い、明瞭な発音で、時にはジョークを交え、笑顔で淀みなく話す。

その時、何事も基礎がしっかりしていれば全ての事は可能になるんだと痛感いたしました。

黒川氏の簡単な英単語の話しに戻りますが、彼は英国人の書いた英文にもチェックをいれていました、「シェークスピアじゃあるまいし、こんな見たこともない単語を使うな」と。



黒川氏のROMAコンベスケッチ Fig.2

■黒川氏は学生の頃から地球上で活動することを考えていた。

黒川氏は、学生の頃から世界建築連盟UIA1958会議モスクワで議長、そして第5回世界学生建築会議レニングラードに日本代表で参加していました。最後にモスクワでの美しい女学生と若かりし頃の黒川氏の写真を添付いたします。PS.彼女は黒川氏の初恋の人だったようです。



UIA1958モスクワ会議で署名する黒川氏 写真2

写真1:新建築198610, 写真2:黒川紀章ノート, 同文書院より転載

大分県大分市から由布市を訪ねて

アトリエ空庵 中原 尚代

「大分空港 視界不良のため引き返すことがあります。」

2024年7月3日午前5時33分に航空会社からのメールが届いた。

この日は住まいの前住人で母のような祖母のような私にとってかけがえのない人との再会を予定していた。

由布市で最後を迎えた彼女は生前に「いつも妹のようにこき使ってごめんなさい」と手紙をくださったことがある。歳の差は50歳近くだが、そんな表現がとてもあたたかく感じられた。今回大分市から由布市の建物を巡ることができたのも彼女のおかげと受け止め、それぞれの建物が普段より一層心に突き刺さった。

貴重な機会を与えてくださった彼女に感謝。



久大本線 由布院ゆき



写真1・写真2

アートプラザ(旧大分県立大分図書館)

設計 磯崎新

竣工 1966年

幾何学的なフォルムで未来への連続性をダイナミックに表現している。

潔さがたまらなく心地よい建物。

内部展示は写真撮影可だが、公開は不可。

3階には磯崎新の木製模型が多数展示されており、内観・展示作品ともに圧巻。

巨匠の迫力は衰えを知らない。



写真3・写真4

大分県庁舎（現：大分県庁舎本館）

設計 安田臣

竣工 1962年

アートプラザとともに「日本におけるモダン・ムーブメントの建築264選」に選定されている。

外壁面のレリーフも去ることながらピロティは天井の迫り具合、素っ気ない通路に寄り添うレトロな手摺、外部への開放性と閉鎖性のバランスが緊張するほど絶妙。

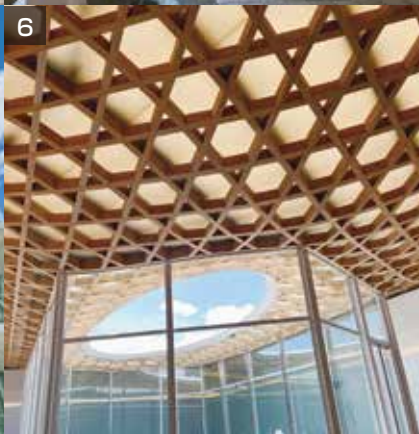


写真5・写真6

大分県立美術館OPAM

設計 坂茂

竣工 2014年

空中歩廊を介してNHK・ホテル日航・総合文化センターと繋がる美術館。

外観、内観ともに木組が現しになっているのが特徴的な建物。

竹工芸の「六つ目編み」をモチーフとした天井には空との繋がりが設けられているのが気持ちが良い。



梅雨明けの炎天下、体力というよりも気力とそれぞれの空間から与えられたエネルギーによってひたすら駆け抜けるような建物巡りとなった。iPhoneの歩数表示を確認してみたら、午後2時から3時までの1時間で3,141歩と表示された。



写真7・8

大分県立図書館(豊の国情報ライブラリー)

設計 磯崎新

竣工 1995年

エントランスホールに足を踏み入れた途端に世界が変わる。

天井から降り注ぐ光とそれを遮るように、否共鳴するように浮かぶ円盤をしばらくの間呆然と眺めていた。

壁面に整然と並ぶボツ窓と天井に浮かぶ円盤の相性も抜群。

写真9

COMICO ART MUSEUM YUFUIN

設計 隈研吾

竣工 2017年 2022年増築

黒い建物と外部を彩る緑のコントラストが美しい空間構成。

写真10

由布市ツーリストインフォメーションセンター (YUFUINFO)

設計 坂茂

竣工 2018年

写真11・12

JR 由布院駅

設計 磯崎新

竣工 1990年

高さ12m吹き抜けのあるコンコースは木の温かみと上からの光で開放性の中にも包まれているような安心感を覚える。

外観は美しいボルト屋根が由布岳と調和しつつ、まちのランドマークとして美しく聳えている。

特集 神奈川の残しておきたい建築

あゆみ橋（相模川）

海老名支部 株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦



少し変化球的になりますが、残しておきたい建築というテーマでご紹介したいと思います。

5

景色をつくる建築として橋は印象的です。神奈川県中央部分を南北に流れる相模川にも数多くの橋が架かっていますが、その中で「あゆみ橋」は、厚木市と海老名市をつなぐ位置に架かっています。すぐ隣には「相模大橋」も架かっていて、こちらはかながわの橋100選に選ばれているくらい有名な橋ですが、あゆみ橋は見た目の特徴やエピソードではより魅力的です。

あゆみ橋のある位置にはもともと「相模橋」と称する橋があり、相模大橋ができた際に一旦廃橋となりましたが、要望により「流されてもすぐに架け直せるような」簡易な構造の沈下橋として、昭和41年に「相模小橋」として開通しました。

大雨で橋が流されてしまった場合、海老名市と厚木市が毎年交代で費用を負担していました。しかし台風が多い年には予算超過となったり、毎年交代では不公平になることもあったため、恒久的な橋に架け替えることになり1992年からの工事で1996年2月1日に「あゆみ橋」として開通しました。2012年の延伸整備工事を経て現在に至ります。

アーチは現在3つありますが、以前は2つでした。2012年の延伸整備工事の際に同じアーチがそのまま1つ増えた際には少し驚きました。景色や橋の印象が全く変わらなかったのは意図したことだったのでしょうか。

もともと「流されてなくなってしまうことを想定して存在していた」という変わったエピソードがあるこの橋には、是非今後も残っていて欲しいと感じます。

形 式：バスケット・ハンドル型
ニールセン・ローゼ橋
開 通：1996年2月1日
橋 長：236m
活荷重：TL-20
設 計：間瀬コンサルタント



箱根ホテル

県西支部 長川建築デザイン設計事務所 長川 勉



国道1号線側ファサード

箱根町芦ノ湖湖畔に建つホテル、創業は1923年(大正12年)で幾度の震災等により建替を繰り返し1992年(平成4年)に富士屋ホテルレイクビューアネックスとして完成したのが設計：堀池秀人 都市・建築研究所による現在のホテルである。

正面のデザインは堀池秀人氏の水平線を重視することを旨としたスカイラインが表現されている一方湖側に廻るとマジックコートによる左官仕上げで温もりのあるデザインまた庭のグランドラインと湖の水平線が一体となるように計画されている。

箱根には数多くの名建築ホテルがあり残しておきたい建築が多々ありますが、30数年前に結婚式を挙げた箱根ホテル、私には訪れる度に癒やしの時間をあたえてくれる場所である。

所在地 : 足柄上郡箱根町箱根65
竣工年 : 1992年(平成4年)
設計者 : 堀池秀人 都市・建築研究所
構造規模 : 鉄筋コンクリート造 地上4階建
用途 : ホテル



メインエントランス横テラス



湖畔中庭側



エントランスロビー



中庭から芦ノ湖を望む

委員会活動報告

「相模原 城山周辺の山とまちあるき」

我が委員会では、昨年11月9日に「相模原 城山周辺の山とまちあるき」を行いました。これは相模原市景観整備機構の活動の一環としての位置づけもあり相模原支部との共同企画です。特筆すべきは今回相模原支部の全面協力を得てまちあるきコースの設定をしたことです。本来、景観整備機構の指定は景まち委員会のみにされている訳でなく、神事協に対して指定されており、地元相模原支部に対する行政の期待も大きい訳です。前置きが長くなりましたがそのような意味でも大変意義のある「まちあるき」企画がありました。

実施日当日は、快晴となりJR橋本駅にて集合した面々はバスにて移動しました。

城山総合事務所バス停で降り、城山地区内を歩き、若葉台住宅を俯瞰しながら山道に入りました。若葉台住宅は、黒川紀章がランドデザインをしたことで知られています。

その後山道を登り続け小松城址登り口、評議原を経由し、城山湖畔まで到着しランチタイム。



金毘羅宮奥宮付近



津久井湖を背に

景観まちづくり特別委員会 杉本 勝郎

ランチ後、狭い林道をさまよい峰の薬師を通り下り坂を経て津久井湖に架かる三井大橋（吊り橋）に到着。三井そよ風橋は三井大橋の隣に架かる歩行者専用専用の吊り橋です。



三井そよかぜ橋

吊り橋を渡ると城山ダムに至ります。



城山ダムを背に



夕日の城山ダム

まちあるき終了後はいつものように懇親会での宴になる訳ですが、ここで城山周辺の素晴らしい景観を中心とした話題が盛り上がり景観整備機構の活動のひとつに加える話が出てきました。振り返るとまち歩きのはずが、山歩きになってしまいましたが今後の委員会活動のテーマの一つが見えてきたのも今回の収穫と思っています。

委員会活動報告

山本理顕プリツカー賞受賞記念講演

「建築家の責任」 山本理顕 / 山本理顕設計工場

12月20日（金）17：00－19：00

神奈川県民ホール 小ホール 参加費：無料

主催：神奈川県建築士会 神奈川県建築士事務所協会

JIA神奈川 日本建築学会関東支部神奈川支所

参加者：257名



講演中



山本理顕講演会案内写真

山本理顕先生プリツカー賞受賞記念講演報告

横浜支部 港設計一級建築士事務所 山口 英生

再編成された県建築会議と建築学会の4会が力を合わせた初っ端企画、地元の誇りの先生をお迎えするプリツカー賞受賞記念講演「建築家の責任」に、大勢の建築士や学生が集まりました。

賞では地域社会とコミュニティを創る力が評価され、先生は「しきい」にフォーカスした多くの踏査例を挙げられました。初めは金魚鉢と揶揄されたパンギョの1階、ある住民が社交スペースとして使い始めたら多くの住民が見倣いはじめ、結果的に「しきい」として多様に機能していく話では先生は少々得意気。

「どうしたら長きに亘って情熱を維持できるのか」の問いに「君は情熱も無いのに仕事するの?」と山本節。情熱も無いまま先のことを悶々とするのではなく、いま自分なりの情熱を傾け、やり続けてある時ふと、長きに亘っていることに気付くのかもしれない。

「建築には力が有ることを信じろ!」

「建築家には地域社会を創る大きな責任があることを自覚しろ!」

心に響きました。

懇親会（マリンタワー）に参加して

山本先生の講演「建築家の責任」は、「あなたは何を目指してたの?」「何をやってきたの?」と、突きつけられたようで、こんなに考えさせられるなんて思いもよりませんでした。

当然、先生と自分を比較するなんて野暮な話ではなく、建築に携わる一人として、60代の自分ではありますが、もう少し頑張ろうかな、とも思えたのは、聴講して本当によかったと思いました。

その講演の余韻を以て、懇親会に参加。場所は、講演会場の神奈川県民ホールから少し歩く「マリンタワー3階THE HOUSE」。立食形式にしたのは、先生に、参加者が代わる代わるご挨拶しやすいようにとの配慮だったと思います。祝辞を壇上で話された方々は、まるで戦友のように、先生との思い出を語られていても、お互いのリスペクトがあ

川崎支部 (有)ノマド 永島 優子

ふれたスピーチで、皆さん素敵でした。

今回は、4会合同主催ということで、懇親会も、いつもと少し違う雰囲気でしたが、はじめてお会いする方もいらっしゃって楽しかったのも、もっとこのような団体の垣根を超えた機会が増えるとうれしいです。

最後に、こんなに素晴らしい本講演の企画運営をされた関係者の皆様に感謝申し上げます。

お疲れ様でした。



集合写真

賛助会だより

2024年度 一級建築士ストレート合格者占有率 64.3%! 1036名中666名が当学院受講生で占められる結果となりました。

株式会社総合資格 西山 幸祐

株式会社総合資格の西山と申します。

いつも協会の皆様にはお世話になっております。

弊社は、一級建築士をはじめとした建設系国家資格取得のためのライセンススクールです。

1980年創業で、今年で45周年となります。

神奈川県下においては19年連続で一級建築士合格者シェア50%以上を守り続けております。

今回は、紙面の利用をお許しいただいたので、スクール事業以外の弊社業務をご紹介します。

①法人サポート事業

- ・有資格者育成サポート
資格取得意識向上ガイダンス／社内勉強会／各種模擬試験実施運営／教室提供
- ・企業担当者、経営者サポート
資格取得プログラム作成運営／受験者管理／法定講習管理
- ・人材採用サポート
新卒採用支援／中途採用支援

②学生サポート事業

- ・学生イベント支援
学生設計コンペ協賛／総合資格独自コンペ企画／建築家講演会企画
- ・就職支援
業界研究セミナー／合同企業説明会／総合資格NAVI
- ・その他
奨学金制度／研究室支援／学内授業サポート

●各種ご相談はこちらから

株式会社 総合資格 西山 幸祐

TEL：042-724-3061 FAX：042-724-3350

携帯：080-2193-6358



2025.1.13 (月・祝) に2024年度合格者が一堂に会する合格祝賀会をパシフィコ横浜で盛大に執り行いました。勝利の美酒に酔いしれ、ともに戦った仲間と語り合う合格者の皆様の輝かしい笑顔が私共の一番の原動力となります。



人を築く。未来を築く。

 総合資格学院

賛助会だより

【省エネ・脱炭素・ZEB化等が進む中での外断熱の効果及び展望】

株式会社サンクビット 営業G 水澤 伸也

株式会社サンクビットの水澤と申します。この度初めて賛助会員の担当となり皆様にご挨拶させていただきます。私は以前土木に関わる仕事をしていました。建築業界はまだ経歴として浅いですが、知識も増えてきましたので、これからも宜しくお願い致します。

弊社は、RC造やS造(ALC)の建物の外壁に断熱材を張り付けて建物を覆う湿式外断熱工法を取り扱う会社になります。

外断熱工法を簡単にご説明しますと、建物の躯体の外側を断熱材で覆う工法で、逆に躯体の内側に断熱材を施すのが内断熱工法になります。

ここで、外断熱工法のメリットを大きく二つご紹介させていただきます。

一つ目は、建物の外側を断熱材で覆うことで、省エネ化が期待出来ることです。コンクリートの特徴として蓄熱(冷)があり、外断熱を施工する事により壁が室内の温度に同調し蓄熱(冷)し、空調等を切った後の室内温度の高低により輻射熱(冷)を出して大幅な温度の上下を防いでくれます。(室内温度の安定化)

そして外気温からの温度の流入は外断熱によ

り緩和される為、夏は涼しく冬は暖かく、冷暖房を効率よく稼働し省エネの効果が大きい期待できます。

(開口部も含めた外皮の断熱化が必要です)

二つ目は、建物の長寿命化が期待出来ることです。湿式外断熱は躯体の外側に断熱材を覆う工法となりますので外気温の温度変化や紫外線の影響を抑制し、躯体のクラックやコンクリートの中酸化を抑制する工法となります。このことが躯体の劣化を抑え長寿命化を図ることに繋がります。

今後、脱炭素に向けZEB&ZEH・省エネ・躯体長寿命化等が一層進められていく中で建物を断熱材で覆う外断熱工法の優位性が、さらに認知されていくものと思われ、是非新築・改修でのご採用をご検討いただければ幸いです。



株式会社サンクビット

〒101-0044

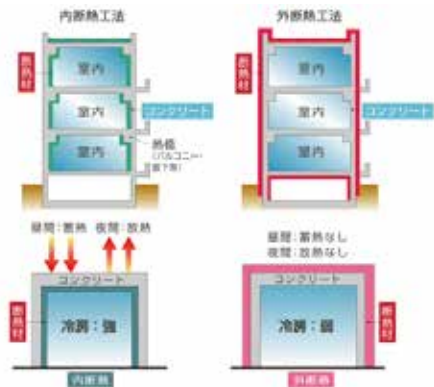
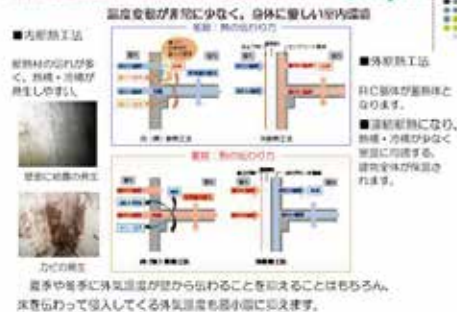
東京都千代田区鍛冶町2-3-14 フェリスビル5階

TEL: 03-5256-5637

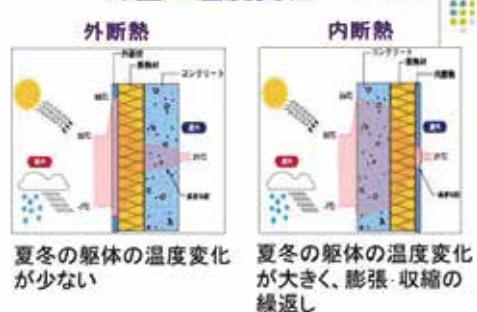
アウサレーション湿式外断熱工法の構成 Dryvit



躯体の連続断熱・蓄熱による室温の安定 Dryvit



外壁の温度変化 Dryvit



2024年度活動を振り返って

一級建築士事務所 ひとみ設計工房 有泉 ひとみ

今年の支部活動は、他支部、本会委員会との交流機会も多く 支部のみで活動している会員にもネットワークが増え会員相互の距離が縮まったように感じました。

景観整備機構として相模原市との会議にも支部会員が参加し支部内でも相模原市の景観に対する意見交換が、行われるようになりました。

これも2年目となった新村支部長が、相模原支部の今後を考えての提案であったと思います。

3～4年前から 少しずつ支部会員特に若手会員が増え 相模原市民桜まつりにおいて行った仕事展では自作振動機による建物耐震実験に、将来建築士になりたいと言ってくれる子供や無

邪気にあれこれと試す大人で賑わいました。その時に行ったアンケートでは、設計事務所の存在や家を建てる時にどこに頼みますか等の質問の回答に 設計事務所の知名度の低さを知り存在をアピールしていく方法が今後の課題であると感じました。

そして、今年が目玉は、相模原支部ホームページがリニューアルした事です。まだ、完成形ではないですが、支部賛助会のページや相模原の景観等 会員の意見を聞きながら様々対応して下さる製作者の佐藤理事の技量に感動です。

進行形ではありますが、皆様も 是非、覗いてみてください。 Welcome 相模原支部!!



4月 相模原市民 桜まつり (しごと展 景まち委員も来場)



5月支部総会 (平山会長をお招きして)



7月 支部長会議 (各支部長と交流)



7月 支部研修旅行佐倉など (景まち大西委員長と)

12月 津久井湖周辺まち歩き
(景まち委員会に協力)12月勉強会・忘年会
(横須賀支部、県央ブロックの方々と)

相模原支部HP QRコード

空き家の判定

株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦

昨年10月に一般社団法人神奈川県建築士事務所協会と海老名市で「海老名市における空き家対策に関する協定」を締結しました。その翌月11月より早速、支部にて海老名市内の空家判定業務の対応が始まりましたので、空家判定業務の内容についてご紹介いたします。

<海老名市内における空家対策にをすすめるための業務内容>

業務として主に2つほどあり、

- ①管理不全空家等及び特定空家等の判断支援業務
 - ②その他、空家等の対策を進めるための事業
- となっています。

空家等とは、空家等対策の推進に関する特別措置法2条に規定される空家等として、また、特定空家等、管理不全空家等も同法2条、13条に規定されるものとして取扱って対策を進めるために、現地に訪れて、判定表に基づき空家判定業務の支援を行います。



腐朽した各部材



傾斜した建物

判定表の判定項目としては主に、建物の傾斜、構造体の腐朽度合、近隣への影響、敷地内の植物・動物の状況などになっています。写真のようにひどく劣化した構造体や、傾き等を見ると早急な対応が必要と感じます。

また、判定業務中に隣人から「どうにかしてほしい」といったような趣旨の声もかかった事もあり、空家が近隣に与える影響を実感しました。

数件の業務を行った中でも、通った事のある道路に面していた事例もあったようで、意外と存在するものだなと感じたという感想も聞いています。

身近な事として空家の対策がすすむよう、努めてまいりたいと思います。

鎌倉支部「仕事展2025」開催報告

鎌倉支部広報企画委員長

有限会社湘南建築工房一級建築士事務所

高野 淳一

鎌倉支部から全国へ発展した「仕事展」ですが、今回は地域社会との連携を深め、建築士の活動を広く知っていただくため、市内の4つのエリアに分け、地域の特性やニーズに合わせたテーマで展示を行い、地域住民との交流を図ることを目的とした地域密着型の「仕事展」を開催しました。各班はA班（材木座・大町・由比ガ浜）、B班（鎌倉駅中心）、C班（腰越・七里ヶ浜）、D班（大船）の4班に分かれ、それぞれ独自のテーマやコンセプトに基づき、パネル展示や模型、映像解説、地域課題に対応したワークショップを実施しました。

A班（材木座・大町・由比ガ浜）は「防災と建築」をテーマに、材木座公会堂で地域防災シンポジウムを開催しました。材木座在住のJIA代表の柳澤潤氏、士会元湘南支部長の梅澤典雄氏、地球環境戦略研究機関の堀田康彦博士、材木座企業の「はつひので」小林ななみ代表と地域住民と共に、環境配慮と防災を両立させた建築について議

論し、参加者の関心を集めました。B班（鎌倉駅中心）は、無印良品店舗内で古い建物のリノベーション事例を紹介し、観光と共存する建築の可能性について来場者と意見を交わしました。C班（腰越・七里ヶ浜）は「地域住民との関係性」を深めるため、腰越の海の家で交流イベントを開催。Jazz Liveや座談会を通じて、地域の人々と熱い議論を交わしました。D班（大船）は「大船ビレッジマルシェ」と題した地域住民とのワークショップを行い、地域の活性化を図るとともに、展示や相談会を通じて多くの来場者と交流しました。

今回の仕事展は、地域に密着した広告活動が特徴でした。集客が課題となる中で、SNS（Instagram等）を活用した有料広告の導入を次回に向けて検討したいと考えています。この仕事展を通じて、建築士と地域住民との交流が深まり、建築の重要性についての理解が広まりました。今後も鎌倉支部は地域社会との連携を強化し、鎌倉のまちづくりに貢献していきます。



A班



A班



B班



B班



C班



C班



D班



D班

新入会員のご紹介

横浜支部

hm+architects一級建築士事務所 伊原 みどり
〒227-0061横浜市青葉区桜台14-7-203
TEL.045-984-4598

株式会社齋藤建設 一級建築士事務所 齋藤 翔太
〒245-0003横浜市長区岡津町2899-4
TEL.080-8019-2685

横須賀支部

PEARL住宅設計一級建築士事務所 中村 聡
〒238-0032横須賀市平作7-7-10-8
TEL.090-2642-0104

湘南三浦支部

桜宮Labo 比留川景介
〒249-0005逗子市桜山2-7-35
TEL.046-872-1836/FAX.046-890-2084

藤沢支部

有限会社神明工務店 二級建築士事務所 北島 健晴
〒251-0021藤沢市鵠沼神明3-5-16
TEL.0466-26-8998/FAX.0466-22-0436

エニアーキテクト株式会社 田中 宏和
〒251-0031藤沢市鵠沼藤が谷4-17-5アーク鵠沼205
TEL.080-4232-3075

鎌倉支部

宇都宮雅人建築研究所 宇都宮 雅人
〒247-0055鎌倉市小袋谷2-4-4
TEL.070-6520-4384

相模原支部

ナビ設計 名越 修
〒252-0331相模原市南区大野台2-18-20
TEL.090-1996-5407/FAX.042-753-3374

変更

横浜支部

株式会社タスク
(地区・所在地変更) 中地区 旧) 西地区
〒231-0849横浜市中区麦田町4-106-6 TASK YAMATE

hm+architects一級建築士事務所
(指定代表者変更) 伊原 洋光

宇賀神建築設計工房
(TEL変更) TEL.045-253-6286

川崎支部

富士通株式会社一級建築士事務所
(指定代表者変更) 黒木 啓介

藤沢支部

株式会社門倉組一級建築士事務所
(所在地・指定代表者変更)
〒251-0041藤沢市辻堂神台1-3-39 オザワビル8階
熱田 美樹

賛助会入会者

株式会社オーレンス

会 勢		令和7年2月1日現在			
支部名	令和6年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	253	259	14	8	6
川 崎	109	110	3	2	1
横 須 賀	48	47	1	2	-1
湘 南 三 浦	17	18	1	0	0
藤 沢	38	36	0	2	-1
鎌 倉	42	41	1	2	-1
茅ヶ崎葉川	14	13	0	1	-1
平 塚	23	23	0	0	0
秦 野	11	11	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大和綾瀬	18	19	2	1	1
厚 木	30	30	0	0	0
座 間	11	11	1	1	0
海 老 名	15	14	0	1	-1
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	63	64	3	2	1
県 西	37	36	1	2	-1
合 計	743	748	29	24	5
賛助会員	93	101	8	0	8

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。

※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

KANAGAWA 令和7年3月号(通号455号)

発行 令和7年3月1日(奇数月1日発行)

発行人 平山 正義

発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F

TEL. 045-228-0755/FAX. 045-212-3807

印刷所 株式会社 柏苑社

編集者のつぶやき



本誌建築探訪番外編

末田美術館

由布市湯布院町 1981年竣工 原広司設計

個人美術館ブームの先駆けとなった彫刻家と造形作家
夫妻のアトリエ・住まい・美術館

2024年7月に訪れた際にはすでに閉鎖されていてひっそりと建物だけが佇んでいた。

目を瞑り、耳を澄ませば開館当時の活動の様子が蘇り
そんなエネルギーを静かに放っていた。

施主の要望を設計者と施工者が実現していく。

芸術家の産み出したエネルギーは建築家や職人へと引き継がれ、増幅しながら建物や庭といった空間となって
私たちの前に現れる。

そして、私たちがまたその空間からエネルギーを吸収
して、創作活動の場で新しいエネルギーを発してゆく。

そんなことをこの空間で感じた。

2025 年1 月に亡くなった原広司に敬意を込めて合掌

(鎌倉支部 アトリエ空庵 中原 尚代)

- ・ 担 当 副 会 長 小松 正道
- ・ 担 当 理 事 田中 正幸
- ・ 会報誌編集特別委員長 小泉 厚
- ・ 会報誌編集特別副委員長 仙波 弦
- ・ 会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆 森本 和樹
- ・ 戸井田 顕 中原 尚代 杉本 勝郎
- ・ 長川 勉
- ・ 事 務 局 小林 恵美



今月の表紙

横浜情報文化センター

日本大通りと本町通りの港郵便局前交差点に建つこの建物、歴史的建造物が立ち並ぶ日本大通りで、ひときわ存在感があります。関東大震災後の復興事業として昭和4年に横浜商工奨励館が建てられ、平成12年に、現在の姿である横浜情報文化センターとなりました。3月は、卒業、転勤、転職、移動など別れがあり、転機、節目の季節です。そして、4月は、新たな気持ちでスタートする季節。

木々が芽吹き新緑へ、そして桜咲く、それぞれのスタートをお祝いしている様です。

(表紙写真・文 雨森 隆子)



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association